

西脇市教育委員会会議録

令和8年1月定例会

令和8年1月28日

西脇市教育委員会

西脇市教育委員会会議録
令和8年1月定例会

- * 定例会招集方法
文 書
- * 定例会開催年月日
令和8年1月28日
- * 開催場所
医師会館 会議室
- * 開会及び閉会時刻
開会 午後3時00分
閉会 午後4時20分
- * 議事日程
別紙議事日程のとおり
- * 本日の会議に付した事件
 - 日程第1 一 会議録署名委員の指名について
 - 日程第2 一 前回会議録の承認について
 - 日程第3 一 会期の決定について
 - 日程第4 一 教育長報告
 - 日程第5 議案第1号 令和7年度西脇市教育委員会予算の補正（第8号）見積額の決定について
 - 日程第6 議案第2号 令和8年度学校給食費の改定について
 - 日程第7 議案第3号 令和7年度西脇市少年スポーツ・文化大賞「絆賞」の決定について

* 出席委員
 教 育 長 遠 藤 一 博
 委 員 岸 本 みのり
 委 員 柴 垣 美 紀
 委 員 藤 尾 寛
 委 員 和 多 眞 乘

* 欠席委員及び欠員
 な し

* 議場に出席したものの職氏名

教 育 管 理 部 長	依 藤 嘉 久
教 育 創 造 部 長	足 立 英 則
教 育 委 員 会 参 事	竹 内 誠
教育総務課長兼学校給食センター所長	宮 崎 和 久
人 権 教 育 課 長	笹 原 祥 市
生 涯 学 習 課 長	長 谷 川 広 幸
生 涯 学 習 課 主 幹	高 瀬 崇
中 央 公 民 館 長	東 田 幸 策
生活文化総合センター館長	生 田 伸 介
図 書 館 長	楠 本 昌 信
学 校 教 育 課 長	宮 下 晋 一
学校教育課主幹兼教育研究室長	山 田 恵 子
学校教育課青少年センター所長	新 保 安 章
幼 保 連 携 課 長	上 田 歌 織
幼 児 教 育 セ ン タ ー 長	橋 本 恭 代

* 会議録作成者の職氏名
 教 育 管 理 部 長 依 藤 嘉 久

令和8年1月西脇市教育委員会定例会

議 事 日 程

1月28日 午後3時開会 医師会館 会議室

日程	議案番号	件 名
第1		会議録署名委員の指名について
第2		前回会議録の承認について
第3		会期の決定について
第4		教育長報告
第5	議案第1号	令和7年度西脇市教育委員会予算の補正（第8号）見積額の決定について
第6	議案第2号	令和8年度学校給食費の改定について
第7	議案第3号	令和7年度西脇市少年スポーツ・文化大賞「絆賞」の決定について

西脇市教育長 遠 藤 一 博

◎教育長

—————〔教育長あいさつ…記述省略〕—————

◎教育長

まず、日程の第1、「会議録署名委員の指名について」を議題といたします。会議録署名については、私から指名をさせていただきます。岸本委員、そして藤尾委員の両氏をお願いいたします。

◎教育長

次に、日程の第2、「前回会議録の承認について」を議題といたします。前回定例会会議録につきまして、全員の御承認をいただいでよろしいでしょうか。

—————〔「異議なし」の声あり〕—————

◎教育長

それでは、異議なしと認め、全員の承認といたします。

◎教育長

次に、日程の第3、「会期の決定について」を議題といたします。1月28日午後3時から、本日1日と決定したいと思います。これに御異議ございませんか。

—————〔「異議なし」の声あり〕—————

◎教育長

それでは、異議なしと認め、会期は本日1日といたします。

◎教育長

次に、日程の第4、「教育長報告」を議題といたします。
事務局より報告をお願いします。

—————〔報告…記述省略〕—————

◎教育長

報告が終わりました。何か御質問がありましたらお願いします。

1月26、27日のリーディングDXの研究会に委員の方にも御参加いた

できました。感想も含めて何かありましたらお願いします。

○委員

時間の都合があり、少しだけ参加させていただきました。

多くの先生方がリーディングDXの研修に参加されており、個人的には、低学年の子どもたちに教えるのが難しそうだという感じを受けました。

先生方が学ぼうとする姿勢こそが、子どもたちに教育を背中で教えることに繋がっていくんだろと感じました。

また、タイピングについては、もっと選手権などを開催して、どんどん向上する機会を増やしていただき、順位付けを行い向上心を煽ることで、保護者にもリーディングDXに興味を持っていただけるし、指導を促進できるのではないかと感じました。

◎教育長

ありがとうございます。今、意見がありました低学年と高学年や小学校と中学校の対応の違い、次にタイピングの実態など、もし説明できましたらお願いします。

○事務局

直近3年間の研究の蓄積で、発達段階に合わせた学習が進むように方向性を出しています。例えば、低学年でしたら、ローマ字をまだ学んでいませんので、まず読み書きや鉛筆を使って書くこと、タブレットに関しては写真を撮るなど、基礎操作を中心とした学習を行っています。

高学年になるほどタイピングの部分を増やしており、タイピングのソフトを活用することで、子どもたちが興味を持ってタイピング速度を上げられるようにしています。

来ていた方の感想では、予想以上にタイピング速度が速いという意見や、タイピング速度がもう少し向上したらいいなど、いろんな見方がありました。市内の今までの蓄積に基づく方向性を大事にしながら、各年代に合わせたDXの指導を、研究も含めて行っています。

今回、芳田小学校、重春小学校共に、全ての教師が授業を行っています。学校を挙げて一体感を持った取組がなされたということについて、学校の意識の向上も含めた教師の成果も上がっていると考えています。

また、この2日間で西脇市に来られた方は、県教委から6名、県内の教職員26名、県外が沖縄から北海道まで合わせて17名、市内の教職員は86名、合わせて135名が2日間で両校に訪れたという結果を考えると、注目度が高いものであったと思っています。

◎教育長

それぞれの発達段階に応じたタブレットの活用があるという説明でした。

もう1点、昨日、アドバイザーの方が2人お越しになり、研修の総括を講演会で述べていただきましたが、評価のコメント等がありましたら説明をお願いします。

○事務局

2人のアドバイザーからは、それぞれ重春小学校で行った公開授業についての評価をいただいています。

学習規律などがしっかりとなされている学級については、DXを取り入れた授業がスムーズなことについて好評をいただいたと思います。市教委でもそういったところを大事にしていきたいと話していたので、改めてお話いただいたのはよかったと感じています。ほかに、学校全体で研究に取り組んでいる先生方の姿勢についても好評をいただいたと考えています。その他、たくさん講評いただいた部分はありますが、どちらかというと、それぞれのクラス、それぞれの先生方の授業について特化してお話いただき、学校にしっかりフィードバックしていただいたと考えております。

◎教育長

ありがとうございます。ほかに御意見ありますでしょうか。

○委員

昨日の講演会で、学級経営にAIを取り入れながら円滑化するというお話もされていましたが、西脇市ではどういう取組をされていますか。

◎教育長

AIの活用や、今の研究の状態、西脇中学校のパイロット校の活動などの説明をお願いします。

○事務局

研究としまして、西脇市としては中学校区ごとにリーディングDXを進めており、今年3年目で3校目に入っております。その中で、まず、端末を活用した個別最適な学び、そしてクラウド環境を活用した共同的な学びにおいて、主体的で多様な学びが市内全体で認知されて進んでいると感じています。

今年度は、7月から生成AIを校務で利用する指定を新たに受け、西脇中学校で進めていただいているところです。実際の活用方法として、チャットGPTなどいろいろありますが、例えば校務のDXで文書作成に活用するなど、学校の校務がデジタル化していくことで、先生方の負担減や便利さが増していく取組を行っているところです。

先日もデモンストレーションを西脇中学校の担当にしてもらいましたが、いろんな資料をA Iに読み込ませることで、その資料に基づいた質問ができるようになります。例えば、高校入試の要綱を読み込ませ、質問をすると、その要綱に基づいてA Iが答えを返してくれます。そういったものを作成しておくことで、子どもたちが自由に使って高校入試の質問を個別にできるようになります。

ほかに、実際使用されているのは、案内文など文書作成においてA Iを活用したり、集計の部分で使っており、子どもたちが授業で使用する前に、まず教師がA Iについてしっかり使えるように、優位性や操作方を学んだ上で、ゆくゆくは授業の中で有効に活用していければと取り組んでいます。

この取組により、全国を含めた生成A Iの活用情報が西脇市に入りますので、その情報をもとに担当者が学習し、情報をみんなで共有する活動が、研究者の方から評価をいただいたところです。

◎教育長

よろしいでしょうか。リーディングDXの件については終わります。

ほかにありますか。先日、子ども造形展も開催されましたが、感想等がありますか。人数的には、1,400人ぐらいの参加者があったと聞いています。御覧になった方のアンケート結果を担当の教員が整理をしてくれました。コメントの一部ですが、小学生であれば、「私も中学生の作品のようなものを描いてみたい」、「違う小学校の作品と比較して自分たちの作品を見ることができとてもいい刺激になった」、「学校ごとに毎年取り組まれている課題について年々レベルが高くなっているように思いました」、「〇〇中学校の作品にすごく驚いた」、「先生方の指導の様子が目に浮かぶようです」など、前向きな評価もいただきました。年数で言うと、西脇市子ども造形作品展という名称が変わってから41回目の実施ということで、市全体の取組として進めているという点も非常に稀であるということも聞いています。こういう歴史のある造形展を今年も開催し、たくさんの方が御覧になったというようなことも誇っているところでもあります。

よろしいでしょうか。それではほかはないようですので、教育長報告をこれで終わりたいと思います。

◎教育長

次に、日程第5、議案第1号「令和7年度西脇市教育委員会予算の補正（第8号）見積額の決定について」を議題といたします。

議案第1号は、教育予算に関する議題であり、議会の議決を経るべき

事項となりますので、教育委員会会議規則第7条により議会議案として公表されるまで非公開としてよろしいか。

—————〔「異議なし」の声あり〕—————

◎教育長

では、異議なしと認め、議案第1号は非公開と決定をいたします。恐れ入りますが、傍聴にお越しの方におかれましては、本議案の審議が終了するまで、一旦御退席をいただきますようお願い申し上げます。

—————〔議案第1号 非公開〕—————

◎教育長

傍聴人の入場を許可します。

次に日程の第6、議案第2号「令和8年度学校給食費の改定について」を議題といたします。担当者より議案説明をお願いします。

—————〔提案説明…記述省略〕—————

◎教育長

議案説明が終わりました。御質問や御意見等ありましたらお願いします。

○事務局

私から補足させていただきます。中学校の物価高騰の値上げ相当分については、政策予算で現在要求していますが、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金という交付金を活用して実施する予定としています。

この交付金は、令和7年12月に国の補正予算の議決がされたもので、市長部局を含めた物価高騰対策の検討過程において、市長から「当該交付金を活用して、中学校の給食費無償化の検討はできないか」というお話もありました。

しかしながら、教育委員会としましては、恒久的な財源が確保できる見通しが立たなければ、教育委員会以外の部署も含めた重要施策に影響を及ぼしかねないこと、また、国においても現在中学校無償化についての議論が進められていることから、今回は、この値上げ相当分に係る支援ということで予算要求をしています。

◎教育長

補足も含めて説明があった給食費の関係で、何か質問、御意見がありましたらお願いします。

給食の運営委員会において、令和6年度も協議の場があり、本年度も令和7年の2回目で、給食費の展望について、当時の段階での協議をしています。その協議の中で、保護者委員の方々からの御意見などを御紹介いただけますか。

○事務局

運営委員会の中では、「今の社会情勢において、この値段で食べられるだけでもありがたい」という意見、「自分で買い物して作っても、とてもこの単価で抑えられない」といった意見、「給食を提供していただいていることは非常にありがたい」という御意見などがありました。

御参加いただいた委員で、昨今の物価高の中で給食費を値上げをすることはやむを得ないという御意見がほとんどでした。

○事務局

私もその会議に参加しており、その中で出ていたのは、実際提供される給食を食べていただくこともあり、物価高騰の中においてそれだけでもすごいという意見がありました。

ほかに、給食センターには栄養教諭が3名おり、給食センターは栄養基準を満たす給食を作らないといけません。今年度は、特に米代がすごく上がる中、同様の単価で提供できるよう、おかずのメニューをかなり努力し、できるだけ栄養基準を満たしていくようにした上で成り立っているという説明をしたところ、「そのような影の努力もわかってなかった」という御意見もありました。センターとして様々な努力を行っていますが、物価高騰の流れの中では、どの市も値上げについて検討せざるを得ないという状況になってるということを御理解いただきたいと思います。

また、今までと異なる点は、今までは給食費を低く据え置いた上で、物価高騰の分は市が補填するという構図でしたが、今回は給食費を上げて、その上で物価高騰値上げ相当分は市から補填するという仕組みになったことです。

中学校についてはそういう仕組みです。小学校については、値上げをした上で、さらに、給食費の無償化が国の制度で入ってきて、その財源として国からお金を入っていただき、実質の保護者負担が無料になるという仕組みになっています。細かい制度設計は国の方で進めていますが、大体今話したような内容になるという想定です。

◎教育長

年々、いろいろな材料費が高騰しています。お米の場合でしたら、何年か前の3倍になっており、市の公費負担分が増加していることも一方ではありますが、保護者の新たな負担増がないよう、市の公費を入れながら、今のところ維持していく方向で予算を要求しているという説明でした。今の件につきまして、もし何かほかにもありましたらお願いします。

○委員

私は中学生の子どもがいますが、1食当たりこの値段でいただけるのは大変ありがたいと思います。過去に給食センターの物資調達委員に参加させていただいていたことがあり、栄養教諭の先生が1か月の献立の栄養素を計算したものが提供されています。中学生、小学生低学年、高学年などそれぞれ違いもありますので、本当に細かい計算をしているのを見ていますし、おいしいものをどれだけ子どもたちに届けられるかを1年間体験させていただき、本当に感謝しかないというか、ありがたい話だと思います。それに伴い、私は残菜が気になるんですが、考えられたメニューに、補助金も付けていただいているのに残菜があることが残念だと親として思います。

○委員

先ほど委員が触れられたように、物価高騰の上で残菜が出るのが良くないと思うので、残らないような働きかけや、どうやったら食べてくれるのか、多少なりとも残ってしまうのは仕方がないかもしれませんが、できるだけ少ないように、提供する側も、今より一層努力が必要かなというのを感じています。

◎教育長

残菜に向けた取組や、食育との関連で指導がどのようになされているか、報告できることがありましたらお願いします。

○事務局

残菜率につきましては、各学校の残菜量をチェックし、量が多いときは少し味を変えたり、次回に繋がるような形で継続的に取り組んでいます。

また、主食のパンや米について、子どもの声を聞くと、ちょっと量が多いのではないかというような意見も聞きますので、それについては、検討しているところで、もしかしたら中学校のパンのグラム数変更を行うかもしれません。

個人の好き嫌いもあるかもしれませんが、みんなが食べやすいような工夫を行いながら、今後も栄養教諭を中心に残菜率の低減を目指していきたいと考えておりますので、御理解いただけたらと思います。

○委員

昔の話ですが、自分の子どもが中学校のとき、自分たちがたくさん食べるので、自分たちの給食がなくなったら、集団で下級生のところへ給食をもらいに行き行って食べたという話を聞いてたんですが、今はそういうのは全然ないのですか。

○事務局

クラスの中でよく食べる子と、少ない子で配分を変えているような話は聞いています。

補足になりますが、栄養教諭が毎月新メニューを考案しており、例えば、今週でしたら給食週間として、ブラジルや韓国など各国の伝統的な料理などを提供しています。

また、図書給食といって、絵本などに出てくる料理を実際に提供するなど、工夫を凝らして残菜が低減するよう努めています。

◎教育長

よろしいでしょうか。それでは、ほかに御意見がないようですので議案第2号「令和8年度学校給食費の改定について」を原案の通り決することに御異議はございませんか。

————— [「異議なし」の声あり] —————

◎教育長

それでは異議なしと認めます。よって議案第2号は原案のとおり可決されました。

次に日程の第7、議案第3号「令和7年度西脇市少年スポーツ・文化大賞「絆賞」の決定について」を議題といたします。担当者より議案説明をお願いします。

————— [提案説明…記述省略] —————

◎教育長

議案説明が終わりました。御質問や御意見等ありましたらお願いします。

○委員

日本ポニーベースボールはどのようなスポーツでしょうか。

○事務局

野球です。ポニーリーグはアメリカで誕生した野球リーグで、中学生

の若々しく元気な姿を連想してポニーと名付けられているということです。

◎教育長

アメリカで創設されたポニーベースボールの大会を日本で開催しています。ワールドシリーズにも出場し、優秀な成績を収めています。

ほかにいかがですか。この3団体と3個人というのが対象ということで説明がありました。中には、令和6年度の大会の成績をもって、令和7年度に表彰するという場合もありますので、1つの団体で好成績だった場合、2年生段階で表彰するか、3年生段階で表彰するかという差が生じてくる場合もあります。

この3団体3個人は、表彰規定に則って、基準を超えているという団体、若しくは個人ということで本年度、学校から推薦があったものを事務局で確認し、ここで議案として挙げています。本年度は本当にいろんな団体、個人が全国に行く機会がありました。小中学生のスポーツ関係が活発になって、良い成績を収め、新たなステージで頑張ってくれており、夏の全国大会への壮行会でも対象となる団体・個人が非常に多く出た年でもありました。

それでは、ほかに質疑・御意見がないようですので、これより採決に入りたいと思います。議案第3号「令和7年度西脇市少年スポーツ・文化大賞「絆賞」の決定について」を、原案のとおり決することに御異議はございませんか。

————— [「異議なし」の声あり] —————

◎教育長

それでは異議なしと認めます。よって議案第3号は原案のとおり可決されました。

以上をもちまして、本日の議事は、すべて終了いたしました。慎重に御審議をいただきまして、ありがとうございました。

それでは、このほかに委員様方、若しくは事務局から御意見等がありましたら御発言願います。

○事務局

教育総務課から学校統合関係の進捗状況について御報告します。

まず、重春小学校と芳田小学校の統合に関する状況ですが、前回お知らせした開校準備委員会からの意見でありましたアンケートの実施に向けて進めております。

お手元にお配りした内容のチラシを、重春・野村・芳田地区に2月の広報誌と同時配布する予定です。チラシの裏面ですが、住民の方にお配りするものには、アンケート回答期限と書いた下の欄にQRコードを載せており、読み取っていただいでWebで回答いただく形となります。

アンケート内容は、属性に関する事、今回の統合に関して期待すること、吸収統合・新設統合などの統合方式、それを選んだ理由、統合に関する御不安に感じられている点などをお聞きする予定です、2月16日を回答期限としています。重春・芳田小学校については以上です。

次に、西脇東中学校の状況について御報告します。これまで御報告させていただきましたとおり、西脇東中学校の学校統合については、昨年9月以降に比延地区自治協議会や区長会等が、地域での説明会や、保護者アンケートなどを実施し、意見の集約を進められてきました。

昨年12月の地区自治協議会において、令和10年4月に西脇中学校へ吸収統合する方向性が望ましいとの承認が得られたことを、前回報告させていただきましたが、昨日、1月27日に、比延地区自治協議会及び比延地区区長会様から意見書を御提出いただいております。昨日受領した意見書の内容について御報告させていただきます。

意見書の内容としては大きく3つあり、1つ目として、西脇東中学校を西脇中学校に統合する。なお、統合方法については吸収統合とすることが1点目。次に、2つ目として、中学校統合の時期は令和10年4月とすること。最後に、3つ目として、学校統合に係る要望事項等について関係者等と今後も十分な協議を行うこととなっています。

3つ目の統合に係る要望事項の具体的な内容については、4点あります。1点目、通学支援は、地域の保護者の意見を尊重し、スクールバスを運行させるなどの適切な手段を確保すること。2点目、統合時の生徒の適応支援及び心のケアについて十分配慮するとともに、両校生徒の交流機会を設けるなどの、円滑な統合に向けた取組を行うこと。3点目、西脇東中学校の閉校後の活用方法については、まちづくり及び地域活性化の観点から、比延地区自治協議会を初めとした地域住民の意見を尊重すること。4点目、西脇東中学校の表彰記念品等については、地域住民の意見を尊重し、保存に努めること。意見書の内容については以上となります。

教育委員会の事務局としては、比延地区自治協議会等での検討協議において、会議への出席や資料提供等を通じて学校統合に関する教育委員会としての考え方を説明し、一定の御理解を得たと認識しています。その上で比延地区として、現実的かつ具体的な御意見を示していただいた

ものと考えています。

一方で、アンケートや説明会での保護者からの御意見として、賛成意見だけではなく、意見書に記載しているとおり、学校統合に対して通学に関する心配ごとや、生徒の環境変化に対する御不安など様々な御意見もいただきました。

事務局としては、度重なる統合計画の見直しにより、御不安や御心配をお掛けしている保護者の皆様の御意見や児童生徒の皆さんの立場に、可能な限り寄り添った対応ができるよう準備をしたいと考えています。

令和10年度の学校統合であれば、この4月には統合に向けた準備の具体化を進めていく必要があると考えており、事務局として、教育委員会における西脇東中学校の統合に関する方向性の協議、決定をこの3月を目途に進めていただきたいと考えています。

また、西脇東中学校と統合を計画していた黒田庄中学校については、地域の総意として要望書をいただいていることから、まず、黒田庄地区区長会へ、比延地区の意見書の内容等と、それを受けた教育委員会の対応などをお伝えした上で、黒田庄中学校の学習環境規模適正化の取組を今後どのように進めていくことができるか、協議の場を設けていただけるよう調整していきたいと考えております。

○事務局

1点補足をさせていただきます。先ほどの説明の中で重春小と芳田小の統合に関するアンケートを近々実施するという事で御報告申し上げましたが、本アンケートは、開校準備委員会から、「より広く意見を聞きたい」ということで、その実施を依頼されたという次第です。

また、そのアンケート結果の活用方法ですが、多数決を目的とするものではなく、例えば、年齢や保護者世代で区分を分けたとき、何歳のお子さんをお持ちの方の何割がこうお考えだというような、属性分析に基づく集計を主な目的とするものということです。追加で御説明申し上げます。

◎教育長

事務局から、本日までの統合状況の経緯を補足を含めて説明いただきましたが、ここまでの内容をお聞きいただき、御意見、御質問等ありましたらお願いします。

○委員

比延地区の意見書の中で教えていただきたいのが、西脇東中の表彰関係の部分で、保存するという内容だったかと思いますが、もう一度御説明いただきたいのと、統合先の西脇中学校への説明やスケジュールなど

を教えていただけたらと思います。

○事務局

1点目の表彰記念品ですが、他市町の事例を見ると、閉校となる学校のトロフィーや、表彰記念品、記念碑等も含んでおり、どのようなものが該当するか協議事項を整理した上で、新しくなる学校に移設するものについての協議を開校準備委員会で丁寧に行ってほしいという趣旨だと理解しています。

2点目の西脇中学校区への調整等ですが、比延地区から意見書が出てきた段階ですので、意見書の内容を西脇中学校区にお伝えする運びになるとと思いますが、正式には2月の教育委員会である程度の方向性を協議いただいた後、計画の一部を変更する必要があると考えています。

具体的な動きに関しては、教育委員会で決定してから、開校準備委員会の設置に向けて動いていく流れかと思いますが、4月から始めることを考えると、時間等も限られますので、御了解いただけるのであれば、ある程度の方向性を出していただいた段階で、調整等を始めさせていただくことも現段階では考えております。

◎教育長

要望事項の4点目にありました表彰関連、学校の歴史や成果を大切にほしいという意見等についての説明でした。

先日の自治協議会での意見交換を踏まえ、意見書の内容の1点目は統合方法、2点目は統合の時期、3点目は要望事項についての協議を行うことについて説明がなされましたが、追加の御意見がありましたらお願いできますか。

○委員

以前に比延地区で行われた説明会で、保護者の方から受験期の子どもを心配する御意見があり、その言葉はすごく心に残りました。できるだけ受験期に負担がないような統合がとても大切だと感じたので、お話ししたいと思いました。

◎教育長

ありがとうございます。ほかにいかがですか。

アンケートでは通学などの心配も上位を占めておりましたし、集団同士の交流について御心配される方も非常に多かったと思います。そのような視点で確認をしながら進めたいということについての御意見があったらと思います。

○委員

先ほど教育長がおっしゃった通学のケアと心のケアについて、この2

年の間に全てを解決するという事はかなり急がないといけないと思いますので、十分配慮していただくようお願いいたします。

◎教育長

南中学校区の2つの小学校の統合でも、統合年度までに子どもたちの交流を行いながら馴染めるようにしてほしい、また、移動手段のことも同じように出ており、どこの地区においても共通する心配ごとだと我々は認識しているところです。

○委員

小中一貫を進められている他市町の保護者のお話を聞きますと、先生がすごく混乱されていて、子どもたちのことどころではないようなお話も聞いているので、生徒のケアに加えて新たに異動される先生のケアも必ず行っていたらかないと、子どもにも負担があると思いますのでよろしくをお願いします。

◎教育長

ありがとうございます。ほかよろしいでしょうか。

それでは御意見もいただいたところですが、今後の流れについて、事務局からほかに何かありましたらお願いします。

○事務局

御意見いただいた内容については、比延地区が考え抜かれて出された御意見ということで、尊重し、できるだけ叶えられるように進めたいと考えています。

期間が差し迫っていることもあり、具体的な手続きについて検討を進め、次回の定例会で協議いただけるよう準備します。また、比延地区や黒田庄地区だけでなく、西脇中学校区の関係者への説明等も、方向性を御理解いただけるようであれば、進めるということでもよろしいでしょうか。

◎教育長

よろしいでしょうか。説明の最後にありましたとおり、これからの方向づけの概要について、今日のところは大丈夫でしょうか。詳細は次回に協議をいただくということになるかと思います。では、御承認いただけたとして進めていきたいと思えます。

それではほかに御意見又は御提案はありますでしょうか。

それでは、ほかに御意見等がないようですので、続きまして、各所属長からの諸報告に移ります。各課順番にお願いします。

—————〔報告…記述省略〕—————

◎教育長

報告が終わりました。何か御質問がありましたらお願いします。

○委員

学校教育課の2月16日の公立高校の推薦・特色の入試ですが、最近、国や県の就学支援制度が充実し、私学を専願する子が増えているというニュースを見ましたが、西脇市はどうでしょうか。

○事務局

特に大きな変化が起こっているという情報はございません。私学が遠いというのもあり、一部専願も毎年ありますが、例年どおり公立高校の受験率が非常に高い状態となっています。

◎教育長

ほかに御質問等がありますでしょうか。質問がないようですので、各所属長からの報告を終わりたいと思います。

それでは、次に、次回の定例会の開催日時について協議をします。事務局からお願いします。

————— [提案説明…記述省略] —————
————— 協 議 —————

◎教育長

それでは、次回の定例会を2月25日水曜日、午後3時からと決定いたしますので、御予定をお願いします。

では、以上をもちまして、本日の定例教育委員会を閉会といたします。御苦労様でした。

————— 閉 会 —————